

【表紙】

【提出書類】



## 2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、食品事業に進出いたしました。これに伴い、当社の関係会社は子会社が2社、関連会社が2社増加しました。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 受注状況

当第1四半期連結会計期間における受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント  
の名称 前

## 2【事業等のリスク】

当社グループは、当第1四半期連結会計期間において、重要な営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。当該重要事象を解消するための対応策は、「4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 (5) 経営者の問題意識と今後の方針について」に記載しております。

## 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 業績の状況

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結会計期間における当社グループの業績は、売上高73,400千円（前年同期49,713千円）、営業損失107,607千円（前年同期171,094千円）、経常損失113,638千円（前年同期167,882千円）、四半期純損失104,166千円（前年同期174,016千円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 遺伝子破壊マウス事業

営業活動の活性化に重点を置き、積極的な販売促進活動を展開したことにより、受託事業が好調に推移しま









平成13年改正旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づく新株予約権

( 3 ) 【ライツプランの内容】  
該当事項はありません。

( 4 ) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年4月1日～ 平成21年6月30日		109,075		4,855,225		

( 5 ) 【大株主の状況】

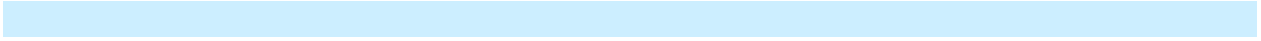
大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりま鷹灘砥 腺

## 2 【株価の推移】

E05317)

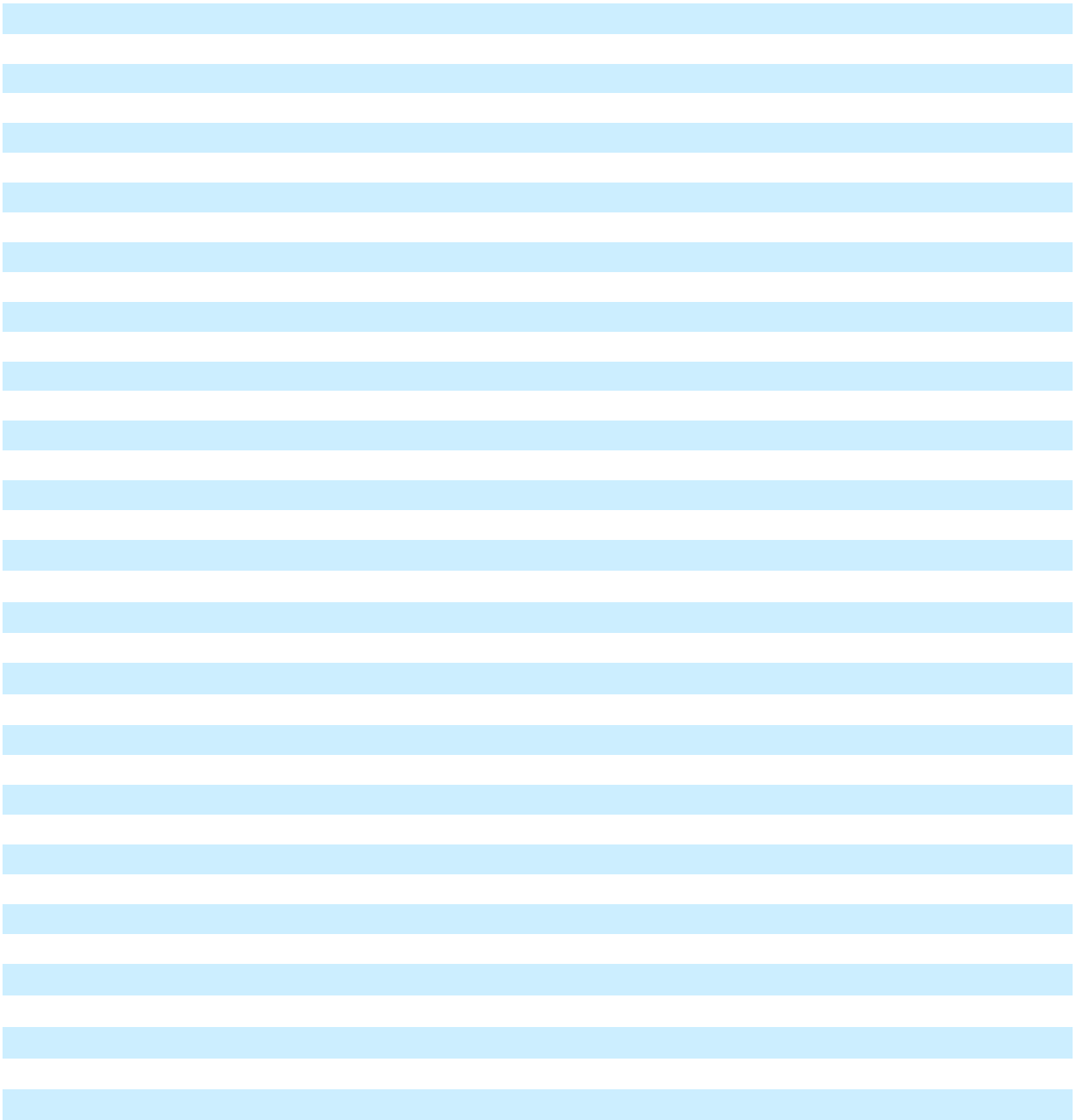
## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について













【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

( 四半期連結貸借対照表関係 )

当第 1 四半期連結会計期間末  
( 平成21年 6 月30日 )

前連結会計年度末  
( 平成21年 3 月31日 )

担保資産

担保に供されている資産で、企業集団の事業の運営に  
E05317)



【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（ストック・オプション等関係）

当第1四半期連結会計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）

1. スtock・オプションに係る当第1四半期連結会計期間における費用計上額及び科目名

販売費及び一般管理費 493千円

2. 権利失効による利益計上額及び科目名

特別利益（新株予約権戻入益） 11,164千円

( 1 株当たり情報 )

1 . 1 株当たり純資産額

当第 1 四半期連結会計期間末



E05317)



E05317)